

# 加州 DEW 攻撃：NWO グローバリストはこれほどの犯罪を 逃れ得ると思うのか

“恐怖と威圧” 作戦：カリフォルニア大火災は奮起でなく麻痺を起こさせている

【訳者注】カリフォルニア大火災は、その規模とやり口において、つまり真相の口封じにおいて、9・11 テロに似ているのではないだろうか。犯罪者どもの残虐非道については、我々はそれほど驚かなくなったが、ここに指摘されている被害者たちの沈黙は、不可解で不安である。言われている通り、本当に気力も意志もなくしたのだろうか、それとも、発言者はすべて巧妙に暗殺されているのだろうか？ こうした事件は、次々と、前のものから注意をそらすために、連鎖的に起こされているから、次により大きな事件が、どこで、どの規模で起こされるかわからない。しかし SOTN によれば、この度だけは、人民に戦う気があるかないかを試すためのもので、ひとたび侮られたら、攻撃は一気に拡大するかもしれない。大火を起こすには、大気圏にアルミニウムが蓄積していることが必要であり、最近また盛んにケムトレールが撒かれていることから、わが国も安心はできない。これは**グローバリスト**がやっていることであるのを忘れてはならない。

SOTN

November 21, 2018



アメリカ人民が、防衛する気を起こすまでに、いったい何が必要なのか——家族は殺され、ペットも殺され、家は倒され、車は焼却され、仕事場は破壊され、農場は消去され、公共の場は荒れ、都市は荒廃し、町は平らにされているときに。



カリフォルニア、レディング、7月27日——車の火災によって起こった残骸の風景。車は焼かれたのに、周囲の樹木が立っているのは、なぜか？

New World Order グローバリスト陰謀団が、明らかな、しかしきわめて秘密の目的をもって、カリフォルニア全土に対する、この11月の火による攻撃を行ったことは間違いない。

そう確かに、こうした、世界を公然と支配しようとする者たちによって仕組まれた、大規模な出来事の背後には、常にいくつかの目的がある。しかし、この最近の、甚だしく鉄面皮なカリフォルニアへの攻撃は、他のあらゆる目標に勝る一つの目的があり、それは、アメリカ人民を、あの11月6日の途方もない選挙盗みから、注意をそらそうと目的すら超えたものである。

**陰謀団の目標はこういふことだ：——人民がこれに気づき、防衛さえする気になる前に、グローバリストが、どれくらい、この攻撃をやったのけることができるかを、確かめること。**

この時点——2018年11月21日——で、非情に不幸なことは、犯罪者どもは、例を見ない、途方もない規模の、カリフォルニアでのやりたい放題の犯罪を、咎められずにやっていることである。こうしたDEW攻撃は、他の犯罪と同じように、やってきてまた過ぎ去った。そしてほとんどの人々は、公的な説明（キャンプファイアの不始末など）を、疑問にもしていないように見える。（DEWとは directed energy weapons, 「指向性エネルギー兵器」とネットには訳されている）

大勢の人々が、このニセ旗環境テロリズムの現行の行動の影響として、恐ろしく苦しんでいること、にもかかわらず、個人的にも集団としても、彼ら自身が立ち上がろうとしないこと——これは、アメリカの現在のありさまを証明する、非常に悲しい事実である。

今、パワーエリートは、これから先は、彼らの試みるほとんど、どんな計略でも、成功するだろうと確信しただろう。彼らは、人民が、戦いを起こすことがないように、社会的にうまくしつけられた者たちであることに、自信を持った。むしろ、アメリカ市民全体が、自分の生命財産に対する最も悪辣な犯罪をも、許すであろうことを、自ら証明した。

実に、2018年のカリフォルニア大火と DEW 攻撃は、アメリカ人民が、自分自身も、自分の家族も友人も、自分たちの共同社会も、護る意思や勇気さえ、持っていないことを証明した。

## ワオ…ワオ!!! と言うしかない!

キーポイント：アメリカ合衆国大統領でさえ、市民に対するこれら大胆不敵な攻撃を止める能力が、全くないように見えたとしたら、なおさら明らかなことは、“我々人民”は、自己防衛するだけでなく、**犯罪者どもを叩きのめす**構えを取らなければならない。



2018年7月31日、カリフォルニア、レークポートにて、大火災が家を焼き尽くす

そのやり方こうだった：——

ケムトレールによって蓄積された大気圏のアルミニウム、  
武器化されたスマートメーター（電気メーター）、

5G 携帯電話や、マイクロ波タワーから発する特殊な電磁場、  
DEW、  
消防士に変装した放火犯、  
カリフォルニアの森林のひどい間違い管理、  
火事を起こすのに利用された PG&E（電力会社）の送電線、  
それに、天候戦争技術のすべてが、  
高度に統制されたやり方で、  
非常に伝導性の高い環境が、個別の山火事のために用意され、  
発火させ、次に山火事のように延焼させ、  
カリフォルニア全域の、狙った共同体を焼く。

（ソース：「こうして、グローバリストとジオエンジニアが共謀して、カリフォルニアの終末的山火事を起こさせた」 <http://stateofthenation2012.com/?p=108256>

人民はこの攻撃に応戦しなければならない

State of the Nation は、他のどんなインターネットのウェブサイトよりも、これらカリフォルニアへの攻撃について、より多くの内容を掲載してきた。このカリフォルニアの連続犯罪を確認する、これだけ多くの固い証拠の、かなりの量と高い質を考えるならば、その根底を見極める、人民による、草の根運動的な努力の周りに、これほどわずかな住民しか参加してこないということは、考えられないことである。

この州全体の、すべての傷ついた人々は、あらゆる利用できる、法的な救済措置だけでなく、彼らの恐るべき損害に対するどんな財政的弁償でも、求めるだろうと人は考える。

今日に至るまで、SOTN は、そういう方向のどんな真の運動をも目撃していない。我々はまた、すべての痛めつけられた関係者に対して、急速に閉ざされていく機会の窓をも目撃している。ひとたびそれが閉じたなら、次の“恐怖と威圧”戦略が、この地方の別の領域に差し向けられるであろう。緊急警報：「グローバリスト陰謀団は、すぐにも話題を、カリフォルニア大火から別の大規模ニセ旗事件へと変えるだろう」

<http://stateofthenation2012.com/?p=108577>

実に、この現状を考えると、真剣に自分の家庭を、アメリカ共和国を引き倒そうとする者たちから護ろうとする、批判的な市民大衆の目を覚まさせるには、何が必要なだろうと、本当に不思議でならない。

**“我々人民” は立ち上がり、自己防衛をしなければならない。それが可能となる唯一の手段は、真の犯罪者を拘束し、彼らを、能う限り最大の法の限度に告訴することである。**

(ソース:「これは戦争だ! カリフォルニアの、ジオエンジニアによる、グローバリストの大火災攻撃は、直接、アメリカ人民を狙っている」

<http://stateofthenation2012.com/?p=108495>

## 結論

我々の国家は、神の介入を真剣に必要としている——これまでになかったほどに。

人民が、自己保全を確保する措置を必要とするほどの難局にさえ、反応しようとしなければ、彼らを助けるものは、真剣で継続的な祈りだけだろう。

カリフォルニアや他の場所で活動している暗黒勢力は、あまりにも強力で集中力があるから、集中した祈りの努力だけが、彼らの暗黒のアジェンダを挫くことができる。

2017 年と 2018 年の山火事シーズンのカリフォルニアで起こったことは、理解を超えたものである。最も高い観点からこれを見たときにのみ、その真の目的が見えてくる。そのときに明らかになってくるのは、この機会を無駄に使ってはならないということである。このあまりにも多くの人々の死を、無駄にしてはならない。

神よ、この最大の緊急時におけるアメリカを救いたまえ!